

- 管内 釧路管内
 ■ 分類 防犯教室 安全マップ 不審者対応訓練 その他（ ）
 ■ 教育課程 教科（社会科） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
 ■ 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
 ■ 取組のポイント

- 専門機関等と連携を図った地域安全マップの作成
 ○ 地域安全マップを活用した安全教育の実施

取組の実際

ねらい

- セキュリティ企業の専門家と連携を図り、学校全体で地域の危険箇所等を把握するとともに、作成した安全マップを活用し、地域住民や保護者と連携を図りながら地域の安全に関する取組を推進し、児童の危険に対応する能力を高める。

内容

1 専門家や保護者と連携を図った地域安全マップ作成

(1) 専門家と連携した生活安全指導

- ・ 専門家の指導の下、第6学年の児童が通学路や校区の危険箇所について話し合ったことを地域安全マップに記入するとともに、児童や教員が気づきにくい危険箇所や対応について確認した。

(2) 保護者・地域アンケートの実施

- ・ 保護者や地域住民に対して、自宅付近の危険箇所等についてのアンケートを実施し、地域の安全に対する意識啓発を図るとともに、アンケート結果を生かして地域安全マップを作成した。



【地域安全マップ】

2 地域安全マップを活用した安全教育の充実

(1) 地域の危険箇所の確認

- ・ 全学級において、作成した安全マップを活用し地域の危険箇所及び登下校や放課後の遊びなどで気を付けることなどを確認した。
- ・ 参観日等において、保護者や地域住民に対し安全マップを配布し、地域の危険箇所や家庭での指導内容等について確認した。



【地域の危険箇所の確認】

(2) 地域住民と連携した安全に関する取組の推進

- ・ 交通安全指導において、地域安全マップを活用し、教職員や地域の防犯パトロール員で危険箇所及びパトロール箇所を確認し、交通安全指導を充実した。

(3) 児童による学校周辺安全マップ作成

- ・ 第3学年の授業において、地域安全マップを活用し、実際に通学路を歩きながら学校周辺の危険箇所を確認するとともに、児童の気づきを加えた学校周辺安全マップを作成した。



【児童による安全マップ作成の様子】

成果と課題

- 専門家、児童、保護者の意見を取り入れた地域安全マップを作成し、授業や参観日等で指導や普及啓発を行ったことにより、児童を含め地域全体の安全意識が高まった。
 ○ 地域安全マップを活用して、教職員とパトロール員が危険箇所を共有したことにより、適切な場所で交通安全指導の充実を図ることができた。
 ● 地域安全マップの積極的な活用を図るため、地域安全マップを定期的に見直すとともに、各教科等との関連を図った指導計画を一層工夫する必要がある。